

作る人がいて、ものが生まれる。  
あるいは見る人がいる、聞く人がいる、食べる人がいる。  
作る側と受ける側。

デザインは、その間にある繋役に思います。

そのものがおかれた状況を理解し、  
目的に合った表現方法を工夫して提案することが  
デザイナーの仕事と考えています。

商品につく小さな葉も、大きな看板も  
そこにある目的を到達させようとする限り、  
デザインに取り組む姿勢は、みな等価です。

できるだけ多くの方と出会い、  
共通言語を探していきたいと思えます。

これは、2010年8月に、48歳で肺ガンで亡くなった柏木江里子さんの言葉です。彼女は、デザインの役割をこう考え、その言葉通り、どんな小さなものもその役目をまっとうするよう、何ひとつ手を抜かず、たくさんの美しいものを残してくれました。

ブックデザイン、テキスタイルデザイン、ロゴ。特に日本の伝統文様や、古い着物の柄からデザインされた「柏」の和小物は、独自のモダンな世界を完成させています。

その彼女の作品を、ぜひ多くの方に見ていただきたいと、回顧展を開くことにしました。残っている制作過程のメモ等も共に展示を。また病室で、ずっと描き続けた花のスケッチブックも公開します。

最後の作品となった「芍薬」のてぬぐいや、「柏」のポストカード、ポチ袋等は展示販売も致します。彼女のデザインへの思いを、ぜひご覧ください。



## グラフィックデザイナー、柏木江里子さんの仕事

2011年10月1日(土) - 10日(月・祝)

4日(火)・5日(水) 休み 12:00-18:00

### ギャラリー モーネンスコンピス

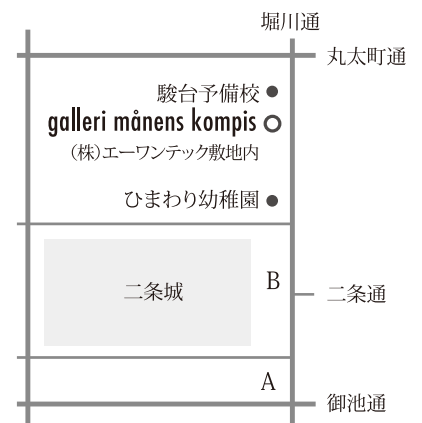
モーネ工房/担当：井上正憲

京都市上京区堀川通丸太町下ル下堀川町 154-1 (株) エーワンテック本社ビル 3階

TEL / FAX 075-821-3477

maane-contact@maane-moon.com

<http://www.maane-moon.com/>



A 市営地下鉄東西線「二条城前」  
B 京都駅から市バス9系統「二条城前」